

YMCA News

2

2024年2月10日発行
認定NPO法人 盛岡YMCA
〒020-0021
盛岡市中央通3-7-18
ラ・ベルヴー中央201
Tel 019-623-1575
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人 / 漢塚 有史
編集 / 本部事務局



いじめによる「心の傷」

私たちの団体は、不登校やひきこもりの子をもつ親の会です。相談支援と親たちと毎月定例会を行っています。

相談される子どものなかには、いじめによる不登校経験者がいます。彼らのなかには、いじめによる恐怖心（心の傷）が消えず、外出できない、人間関係を築けない、社会生活がうまくできないという状態が続いている、学齢期を過ぎてもひきこもりを何十年と続けている若者がいます。

精神科医の斎藤環さんが「いじめ後遺症」について次のように述べています。

「いじめられた経験が心の傷となり、人と関わることに恐怖、不安感を抱きます。特に同世代の人に強い恐怖感を覚え、人付き合いが苦手で、職場にもなじめず生きづらさを覚えている人は少なくありません。いじめを受けて10年、20年たってから病院を受診してくる人もいます。最悪の場合、自殺に至るケースもあります。いじめが起きた時、

親も学校も適切な対策をとらず、卒業すればそれで終わりと考えがちですが、当事者はいつまでたっても癒えない生傷を心に抱え続けているんです。」

（「いじめによるトラウマ、後遺症は残る」<https://social-action.mainichi.jp/cards/1/58>）

加害者や学校関係者にお願いしたいことがあります。いじめで不登校だった子どもが、その後どのような人生を歩んだのか。彼らの心の傷は癒されただろうか。過去のいじめ体験が今もなお被害者を苦しめているのではないかと想像力を働かせてほしいと思います。

（「いじめ」のお薦め本 中川翔子著『死ぬんじゃねーぞ!!』文藝春秋 2019年）

認定NPO法人岩手県青少年自立支援センター
「ポランの広場」理事長 畠山 俊樹

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けた
世界が目指した
「持続可能な開発目標」です



ジュニアスキーキャンプ報告

3 すべての人に
健康と福祉を



こんにちは!リボンです!私から、ジュニアスキーキャンプの報告をさせて頂きます。12月26日から12月28日まで、安比高原スキー場で2泊3日のキャンプに行ってきました!今回のキャンプでは、子ども27人、リーダー11人、スタッフ2人が参加しました。

スキーレッスンでは、初心者の子も経験者の子も、それぞれが目標に向かってたくさんチャレンジしている様子が見られました。スキーが上達していく姿だけでなく、一緒にチャレンジする中で、お互いを認め合い、仲間と共にスキーを楽しもうとする子どもたちの姿がとても印象に残っています。リフトに乗っている間やご飯を食べている間も子どもたちはスキーの話題で持ち切りでした!心からスキーを楽しんでいる子どもたちの思いが伝わってきたスキーレッスンでした。

生活の時間では、初めてのお泊りで少し緊張している様子、バイキングで美味しいご飯にワクワクする様子、プログラムでお友達と協力している様子など、キャンプならではの子どもたちの姿をたくさん見ることができました。自分がワクワクするものに、お友達と一緒に夢中になる姿が様々な場面で見られました。

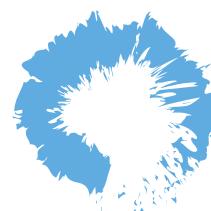
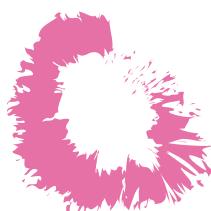
子どもたちは、みんな性別や学年関係なく自分から積極的に関わりを持とうとしていました。嬉しいことも、楽しいことも、辛いことや困ったことも、お友達やリーダーと共有して、このキャンプにいるみんなで分かち合おうとする子どもたちの姿に、とても驚かされました。全員が大きく成長したキャンプだったのではないかと感じています。関わってくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。

岩手大学3年 赤川由芽(リボンリーダー)



ダイナミックスキーキャンプ 報告

3 すべての人に
健康と福祉を



皆さんこんにちは!盛岡 YMCA の筋肉担当のはなこです!1月6日~8日に安比高原にて行われたダイナミックスキーキャンプの報告をさせていただきます。今回は、こどもが39名、リーダーが15名の計54名が参加しました。

スキー技術を上達させることはもちろん、子どもたちがお互いに思っていることを伝え合うことでよりよい関係を築き、そして何よりも1人1人が心の底から楽しいと思えるキャンプを作り上げるために準備を進めました。

今回のキャンプのメインのスキーレッスンでは、初心者のグループも含めて子どもたち全員がとても意欲的な様子でした。また、スキーの後ろを開いて止まることやハの字ターン、パラレルターンなどそれぞれのレベルに合わせたレッスンに、子どもたちは楽しそうに取り組んでいました。最終日のスキーレッスンでは、なんと全員がリフトやゴンドラに乗ることができ、終わった後も、「まだ滑りたい!」「もう1日泊まりたい!」といった声がたくさん聞こえてきました。

今回のキャンプを通して、子どもたちはかけがえのない楽しい時間を過ごすことができたと思います。今回のキャンプに限らずですが、活動を通して出会った人たちのことや楽しかったこと、悔しかったこと、嬉しかったこと、子どもたちにはぜひ忘れないでいてほしいです。私は大学生リーダーとして最後のキャンプとなりましたが、学びのあるとても楽しいキャンプでした。関わってくださった皆さん、活動を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

盛岡大学4年 菅原幸之(はなこリーダー)

東日本地区YMCAスタッフ研修会



東日本地区YMCAスタッフ研修会に参加して学び、感じたこと

1日目は、フィールドワーク（荒川河川敷）①、講演、フィールドワーク（新大久保）②をお行いました。フィールドワーク①では、慎民子（シンミンジヤ）さんのガイドを聞きながら、大虐殺の起こったエリアを歩き、その後の講演では、歴史について学びました。

フィールドワーク②では、韓国文化の発信場所である新大久保エリアで、新しい文化の流れと在日の歴史との繋がりを感じるひと時を過ごしました。

2日目は講演と聖書研究が行われました。講演は東京YMCAの秋田正人氏から、関東大震災時にいち早く救護活動を始めた東京YMCAの働きから、YMCAの災害支援活動の原点を学びました。

聖書研究では差別を乗り越えるためのレッスンと、その根底にある聖書のメッセージを体験し、お互いが自分の言葉で共に語り合う事から、YMCA運動の神髄に触れました。

2日間の研修で私が1番印象に残っているのは、関東大震災と朝鮮人の大虐殺です。今まで関東大震災の話を聞いた事がなく、どれほどの被害があり、どれほどの死者・行方不明者が出了のか知りませんでしたし、朝鮮人の大虐殺があったことも知りませんでした。

本当に、こんな恐ろしい事は二度と起きてほしくないと感じました。私達は災害を防ぐことはできませんが、備える事はできます。過去の災害にしっかりと向き合い、教訓を受け止め、もし再び同じことが起きたらどうするのか、それを考える事がとても大切だと感じました。

YMCAが実現したい世の中の姿が、【お互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る】であることをしっかり頭に入れ、盛岡YMCAの職員として、子どもたちに何が伝えられるのか、そして私自身に何が出来るのかをしっかりと考えていきたいと思います。

盛岡 YMCA スタッフ 和田有美

【サッカー】リーダートーレーニング



1月20日(土)仁王小学校体育館にて、「リーダー達のOPENMIND」というテーマで、名古屋恒彦先生を講師にお招きし、サッカーリーダートーレーニングを行いました。当日は18人のリーダーが参加し、複数のグループに分かれ、その中で子ども役とリーダー役に分かれて、ロールプレイ形式で、実際のサッカースクールと同じように、ウォーミングアップから試合までの流れを通して行い、その後YMCA中央センターに移動し、個人の振り返りとグループごとの振り返りを行い、名古屋先生のお話を聞きました。

子ども役のリーダーにはそれぞれ、低学年か高学年・子どものタイプの設定があり、設定の子どもになりきって活動に参加しました。私は、低学年の楽しくなりすぎて落ち着きがない子どもの役で、いつも一緒に活動にいる子どもをイメージしな

がら行うと同時に、自分がリーダーの立場だったらどうするかなどを考えながら行っていました。

振り返りでは、子ども目線とリーダー目線の両方から見た今回のメニューの良かったところやリーダーの声掛けや動きでの改善すべき点を出し合いました。その後名古屋先生から、子どもの心理や行動に関してお話を聞いていただきました。

今回のトレーニングを通して、私は「OPENMIND」というものが、思いを共にするリーダーが楽しむことで、楽しい思いが子どもにも伝わることなんだと感じました。また意識の共有や価値観の共有が、リーダー同士でも子ども同士でも大切なだと感じました。

盛岡大学1年 岩淵航太郎(イワンコフリーダー)

スプリングサッカー大会のご案内



皆さんこんにちは!いそぎんです。

盛岡YMCAのサッカースクール三大イベントも、ファミリー サッカー大会、秋のサッカー大会を無事に終え、今回のスプリングサッカー大会が今年度最後の大会となりました!今回のスプリングサッカー大会は、3月10日(日)10時~13時で、滝沢市東部体育館を会場に行われます。

YMCAのサッカースクールでは、スタッフや大学生ボランティアリーダーが、サッカーの経験の有無、運動の得意不得意に関わらず子どもたち一人一人が楽しんで参加できるように日々活動をしており、特に、年に3回行われるサッカー大会では、毎週の活動では関われないお友達と一緒にサッカーをすることができます!

この時期、サッカースクールの活動は雪でグラウンドの状況が悪くなっていたり、活動時間が短くなったりして、活動自体が制限され、思うようにサッカーをすることが難しくなっている子どもたちもいると思います。そのような子どもたちに体育館で思い切りサッカーを楽しんでほしいという願いを基にこの大会を開催することとなりました!

昨年のスプリング

サッカー大会では、29名の子どもたちとたくさんの保護者の方々のご協力もあり、とても活気のあふれた大会を開催することができました!私自身も参加し、普段とは違った環境で行うサッカーを前に、いつもとは違った一面を見せる子どもたちが多く新鮮な気持ちとワクワク感に満ちたことを覚えています。



今年も多くの子どもたちと一緒にこのサッカー大会を盛り上げされることを楽しみにしています!

岩手大学2年
高橋和憲
(いそぎんリーダー)



皆さんこんにちは!いそぎんです。
盛岡YMCAのサッカースクール三大イベントも、ファミリー サッカー大会、秋のサッカー大会を無事に終え、今回のスプリングサッカー大会が今年度最後の大会となりました!今回のスプリングサッカー大会は、3月10日(日)10時~13時で、滝沢市東部体育館を会場に行われます。

YMCAのサッカースクールでは、スタッフや大学生ボランティアリーダーが、サッカーの経験の有無、運動の得意不得意に関わらず子どもたち一人一人が楽しんで参加できるように日々活動をしており、特に、年に3回行われるサッカー大会では、毎週の活動では関われないお友達と一緒にサッカーをすることができます!

この時期、サッカースクールの活動は雪でグラウンドの状況が悪くなっていたり、活動時間が短くなったりして、活動自体が制限され、思うようにサッカーをすることが難しくなっている子どもたちもいると思います。そのような子どもたちに体育館で思い切りサッカーを楽しんでほしいという願いを基にこの大会を開催することとなりました!

ワイズの窓⑪



YMCAは社会の課題解決に取り組む団体です。社会に向かってYMCAが良い活動を興し、挑戦する、そんなYMCAを応援するのがワイズメンズクラブです。したがって、YMCAとワイズメンズクラブは常にパートナーシップを持ちながら共に歩んでいます。

1月13日には、もりおかワイズメンズクラブの新年会が市内のホテルで開催されました。リーダー、リーダーOB,OGも多数参加し、ワイズメンの有志と一緒にギターの演奏を披露しました。盛岡YMCAの例会は、毎月第2土曜日に開催されています。



盛岡YMCAリーダー紹介⑯



こんにちは!岩手大学教育学部3年のツナマヨといいます!普段どちらかといふとフラフラしていて、こういった文章を書くタイプではないので若干緊張しながらパソコンと向き合っています!

まず、簡単に自己紹介していきたいと思います!ツナマヨは、秋田県の沿岸にある、由利本荘市出身です。大学では主に、小学校教育と英語教育について勉強しています!3年生の後期に英語教育のゼミ配属があったのですが、外国人の教授のゼミに配属されたため、毎回英語で授業が行われていて、とても大変です。半分分かりません笑。

そんなツナマヨの初めてかつ入るきっかけとなった活動は、当時同じく1年生だったグッチャリーダーに誘われて行った金曜水泳です。最初は大丈夫かと不安な気持ちでしたが、元気な子供たちの姿や、その元気な子供たちに負けず劣らず、全力で水泳を楽しむ暖かい雰囲気の先輩リーダーの姿を見て、なんだかYMCAに入ったら4年間楽しそう!と感じ、盛岡YMCAのリーダーになろうと思いました。グッチャ、あの時誘ってくれてありがとう!

そして、今年は夏の田沢湖キャンプでなんと裏方リーダーとして参加しました。自分でもびっくりです。本当に務まるか不安でしたが、ディレクタースタッフの方々や、参加する子供たち、リーダーに支えられ、無事に2泊3日を終えることができました。普段はグループを持ち、そのグループの子供たちと直接かかわり、その中で、子供たちの成長や変化を見てきましたが、この夏はグループだけでなく、全体を見て、様々な子供たちの変化を感じることができました。いつもとは違う形ではありましたでしたが、子供たちの笑顔を見て、やりがいを感じ、とても貴重な体験で自分自身の学びにもなり、成長することができたと思っています。

最後に、盛岡YMCAという最高の場に出会えたこと、貴重な体験をさせていただいていることに感謝をしながら、これからもYMCAの活動を楽しんでいきたいです。

岩手大学3年 岡本優太(ツナマヨリーダー)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

2月・3月 活動予定

4 質の高い教育を
みんなに

【2月】

プログラム名	開講日・開催日
木曜サッカースクール	1日 8日 15日 22日
金曜サッカースクール	2日 9日 16日
幼児サッカースクール	3日 10日 17日 24日
土曜小学生サッカースクール	3日 10日 17日 24日
月曜水泳教室	5日 19日 26日
水曜水泳教室	7日 14日 21日
木曜水泳教室	1日 8日 15日 22日
金曜水泳教室	2日 9日 16日
体育教室第一・第二	3日 10日 17日 24日
日帰りスキースクールA	2月4日
日帰りスキーキャンプB	2月18日
ちきゅうと、あそぼう。	25日
サンデースクール	11日

【3月】

プログラム名	開講日・開催日
木曜サッカースクール	7日 14日
金曜サッカースクール	1日 8日 15日
幼児サッカースクール	2日 9日 16日
土曜小学生サッカースクール	2日 9日 16日
月曜水泳教室	4日 11日 18日
水曜水泳教室	6日 13日
木曜水泳教室	7日 14日
金曜水泳教室	1日 8日 15日
体育教室第一・第二	2日 9日 16日
ちきゅうと、あそぼう。	3月23日~24日
サンデースクール	17日

表紙の写真から



年末と年始に行われたスキーキャンプ。
学年も性別も関係なく、たくさんの笑顔が見られました。

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡 YMCA」で検索ください。



Y 基本情報



f facebook



i instagram